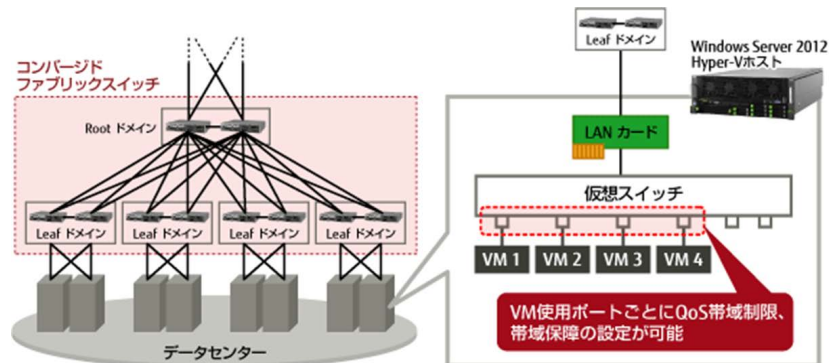


仮想化ネットワーク管理を強化するコンバインドファブリックスイッチ/PRIMERGY コンバインドファブリックスイッチブレード

Windows Server 2012 Datacenter エディションは、IDC(データセンター)などクラウド環境に最適化された OS で、Hyper-V でいくつもの仮想マシン(VM)を構築できます。しかし、物理サーバ数/仮想マシン数が増えるほど、ネットワーク機器やストレージとの接続は複雑となり、ネットワークトラフィックも増大します。このため、シンプルな接続管理と、帯域幅の確保が課題となります。

このような場合、コンバインドファブリックスイッチ/PRIMERGY コンバインドファブリックスイッチブレードを利用することでシンプルな接続管理を実現します(*1)。本スイッチは、複数のスイッチを仮想的に一台のスイッチとして構成可能なため、個々のスイッチに対する煩雑な設定が不要になります。また、Hyper-V ライブマイグレーションを行った際に、従来は移行先の仮想マシンの該当ポートに対して VLAN などの設定変更を実施する必要がありましたが、本スイッチは Hyper-V ライブマイグレーションを検知して設定変更を自動で行います。



物理構築で、10台の物理スイッチを1つのスイッチとして構築した例

- ・一つの仮想スイッチとして操作可能
- ・個々のスイッチ設定は不要。ファブリック内の代表スイッチから設定する。
- ・ライブマイグレーション後も、設定が維持される

帯域幅の確保については、Windows Server 2012 に標準で実装された、仮想スイッチポートに対する QoS 機能が有効です。QoS 機能はネットワークの帯域制限、帯域保障を行う機能で、「IDC のようなマルチテナント構成の環境で、仮想スイッチポートごとにネットワークパフォーマンスを制御したい」という要望に応えます。

コンバインドファブリックスイッチ/PRIMERGY コンバインドファブリックスイッチブレードと Windows Server 2012 の併用により、IDC 環境におけるシンプルな接続管理と帯域幅の効率利用を実現できます(*2)。

*1: コンバインドファブリックスイッチは、富士通製コンバインドファブリック(C-Fabric)に対応した 40/10Gbps のボックス型イーサネットスイッチです。PRIMERGY コンバインドファブリックスイッチブレードは、コンバインドファブリックに対応した 10G/40G のイーサネットスイッチブレードです。

参考: コンバインドファブリックスイッチ (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/expand/>)
PRIMERGY コンバインドファブリックスイッチブレード
(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/blade/blade9/c-fabric.html>)

*2: 物理ポートの QoS は、コンバインドファブリックスイッチ/PRIMERGY コンバインドファブリックスイッチブレードの QoS 機能で制御できます。

商標

- | Microsoft, Windows, Windows Server, Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- | その他、会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- | 本資料に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示((R)、TM)を付記していません。